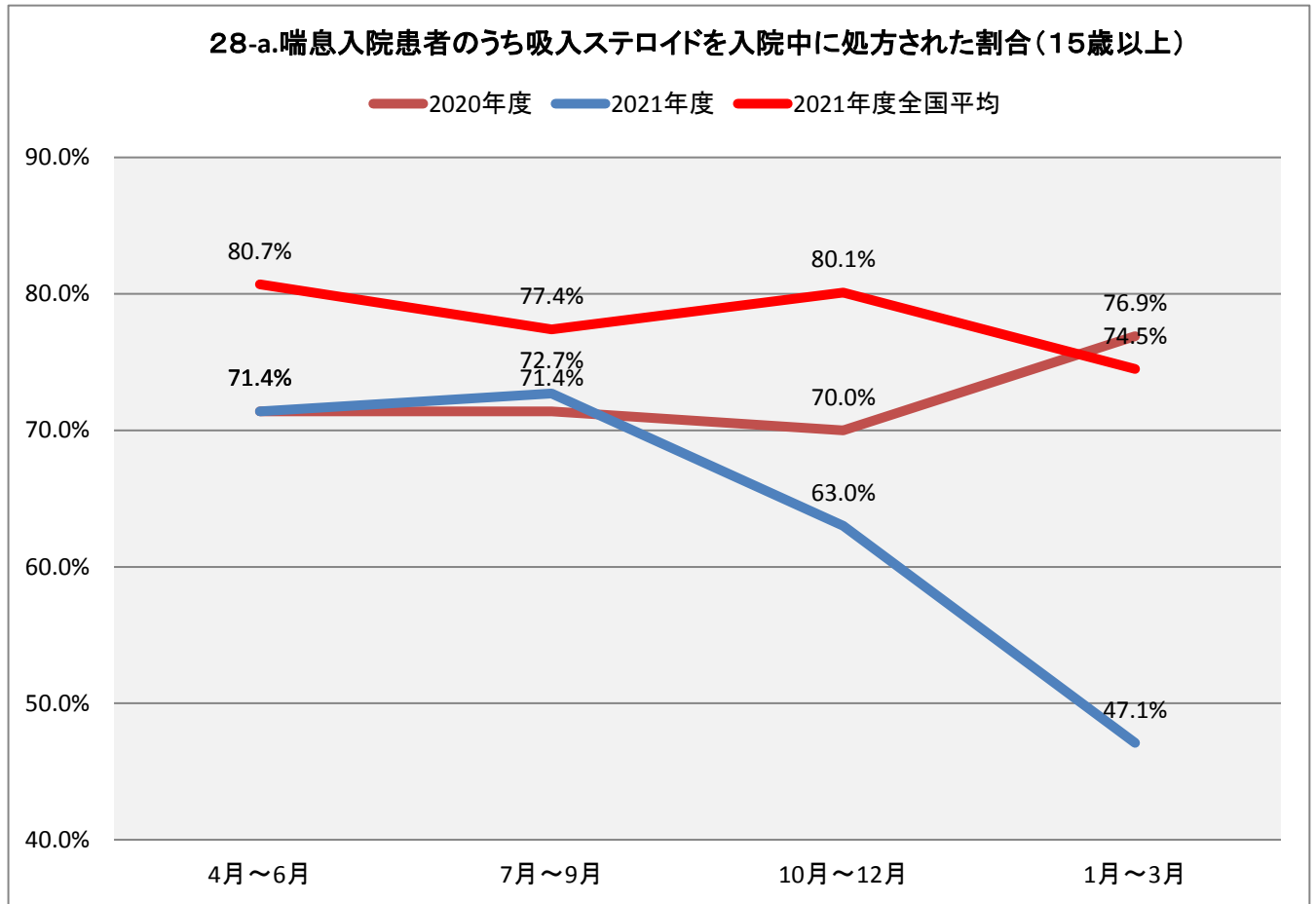


28-a.喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合(15歳以上)

(1) 調査結果



| 調査期間 | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 |
|------------|-------|-------|---------|-------|
| 2021年度 | 71.4% | 72.7% | 63.0% | 47.1% |
| 2020年度 | 71.4% | 71.4% | 70.0% | 76.9% |
| 2021年度全国平均 | 80.7% | 77.4% | 80.1% | 74.5% |

(2) 指標の説明

喘息患者さんにおいては、吸入ステロイド薬とピークフローモニタリングによる自己管理が治療の基本となります。また、急性発作期にはステロイド薬の内服や点滴が必要です。
2019年度までは分母を「5歳以上の喘息患者のうち、喘息に関連した原因で入院した患者」としていましたが、2020年度は、「喘息を原因とする15歳以上の入院患者数」「喘息を原因とする5歳から14歳の入院患者数」に変更となりました。

(3) 定義

分子: 分母のうち、入院中に吸入抗炎症剤の処方を受けた患者数
分母: 喘息を原因とする15歳以上の入院患者数